

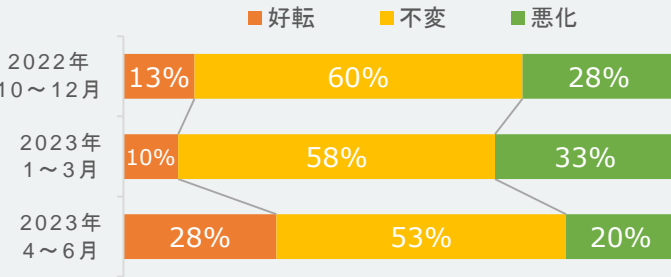
川崎商工会議所 中小企業景況調査 2023年1～3月期 調査結果

●調査対象 川崎商工会議所会員 80 事業所 ●調査時期 2023年 2月 16日～ 3月 1日

1 各社の業況について

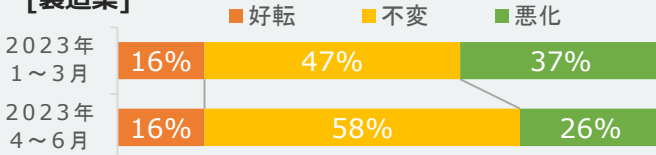
◆今期（1～3月）は不変の回答が前期同様約6割であった。一方で、好転が微減、悪化が微増し、様々な社会情勢の影響があることが伺える。

◆来期（4～6月）の予測は、全体では好転が3割に増加している。その一方で、製造業においては、引き続き慎重な見方となっている。

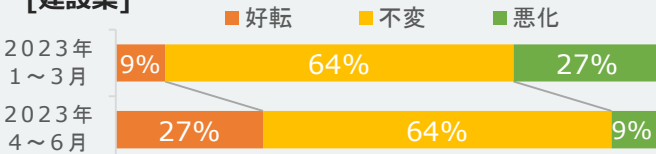


■業種別

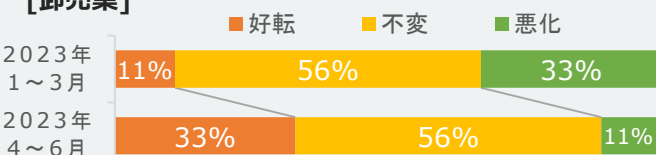
[製造業]



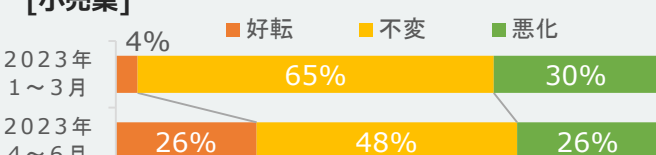
[建設業]



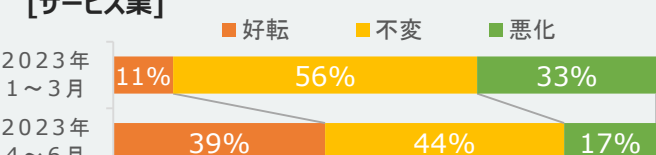
[卸売業]



[小売業]



[サービス業]



2 設備投資について

[今期（2023年1月～3月）]

実施した：14% 実施していない：86%

<実施内容>

車両・運搬具	OA機器	設備	その他
31%	31%	23%	15%

[来期（2023年4月～6月）]

計画している：20% 計画していない：80%

<計画内容>

付帯施設	車両・運搬具	設備	OA機器	建物
37%	21%	16%	16%	11%

3 経営上の問題点 [複数回答]

◆原材料価格（仕入価格）の上昇が全ての業種において課題となっている。

◆従業員の確保難も多くの業種で課題となっている。

[製造業]

1位	原材料価格の上昇	42%
2位	需要の停滞	32%
3位	従業員の確保難	26%

[建設業]

1位	材料価格の上昇	73%
2位	・材料費・人件費以外の経費の増加 ・従業員の確保難	36%
3位	材料の入手難	27%

[卸売業]

1位	仕入単価の上昇	78%
2位	需要の停滞	22%
3位	・人件費以外の経費の増加 ・販売単価の低下・上昇難	11%

[小売業]

1位	人件費以外の経費の増加	43%
2位	仕入単価の上昇	39%
3位	・消費者ニーズの変化への対応 ・店舗の狭隘・老朽化	35%

[サービス業]

1位	材料等仕入単価の上昇	61%
2位	従業員の確保難	39%
3位	・利用者ニーズの変化への対応 ・需要の停滞	28%